



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
コード番号 9365 URL
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 大介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	12,641	10.6	235	41.7	359	11.6	252	△16.3
2024年3月期第3四半期	11,432	△27.2	165	△60.9	322	△45.7	301	△41.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 325百万円 (△33.8%) 2024年3月期第3四半期 491百万円 (△17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	172.20	-
2024年3月期第3四半期	205.71	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	10,965	4,651	42.4
2024年3月期	10,412	4,400	42.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 4,651百万円 2024年3月期 4,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	-	-	50.00	50.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期 (予想)	-	-	-	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	3.3	280	40.1	400	10.2	280	△14.3	190.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,470,000株	2024年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	3,818株	2024年3月期	3,786株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	1,466,189株	2024年3月期3Q	1,465,815株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善やインバウンド需要により、総じて緩やかな回復基調で推移したものの、長引く円安、物価・エネルギー価格高騰により国内消費の本格的な持ち直しには至らず、不安定な国際情勢等もあり、先行き見通しが難しい状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としては、輸出入ともに貨物の取扱量は前年同期を上回って推移しました。日本国内の消費低迷の影響により、輸入関連では厳しい状況が続いているものの一部改善の動きが見られました。輸出関連では、取扱量の堅調な推移と日本発の海上運賃回復により業績を牽引する形となりました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比5.3%増加し、営業収入は前年同期比10.6%増の126億41百万円余（対前年同期12億8百万円余増）となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比11.4%増の8億21百万円余（対前年同期84百万円余増）となりました。営業損益は、前年同期比41.7%増の2億35百万円余の利益（対前年同期69百万円余増）、経常損益は、受取配当金が減少しましたが、前年同期比11.6%増の3億59百万円余の利益（対前年同期37百万円余増）となりました。しかしながら、前年計上した投資有価証券売却益のような特別利益がなかったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比16.3%減の2億52百万円余（対前年同期49百万円余減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨の取扱いが減少したものの、食料品と機械機器製品が堅調に推移し、取扱量は前年同期比で2.2%増となりました。また、自社倉庫での取扱量は微減となったものの、取扱件数が前年同期比で増加したため収益性が改善し、輸出部門の営業収入は前年同期比11.2%増の21億6百万円余（対前年同期2億12百万円余増）、セグメント利益15百万円余（前年同期はセグメント損失42百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、食料品、雑貨の取扱いが増加し、取扱量は前年同期比6.6%増となりました。その一方で、取扱件数は前年同期比で微減となり、自社倉庫での取扱量も減少したものの、保管料収入が増加したことで収益性が改善しました。輸入部門の営業収入は前年同期比3.8%増の39億26百万円余（対前年同期1億44百万円余増）、セグメント利益0百万円余（前年同期はセグメント損失30百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出は堅調でしたが、輸入が低調に推移しました。輸出においては、台湾・インド向けの設備関連や三国間案件等により取扱量が前年同期比20.6%増となりました。また、運賃水準回復も追い風となり、営業収入も前年同期比50.2%増となりました。一方、輸入においては、取扱量は前年同期比で微増とし、一部で運賃水準回復の動きも見られ、営業収入は前年同期比7.2%増となりましたが、日本国内の消費低迷の影響で収益性の改善には至らず、また、部門全体の収入に占める割合が高いことから、セグメント利益でも貢献できませんでした。国際部門全体の営業収入は、前年同期比15.4%増の64億84百万円余（対前年同期8億67百万円余増）、セグメント利益は前年同期比10.8%減の1億70百万円余（対前年同期20百万円余減）の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の40百万円余となりました。セグメント利益は前年同期比3.7%増の38百万円余（対前年同期1百万円余増）の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比10.9%減の90百万円余となり、セグメント利益は前年同期比4.4%減の9百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入6百万円余を含んでおります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億52百万円余増加し、109億65百万円余となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ50百万円余増加し、40億47百万円余となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円余増加し、69億17百万円余となりました。流動資産増加の主な要因は、現金及び預金は減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産の増加等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、建物及び構築物、投資有価証券、リース資産の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億99百万円余増加し、41億80百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ1百万円余増加し、21億33百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、賞与引当金は減少しましたが、支払手形及び営業未払金、その他の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金は減少しましたが、リース債務、繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億51百万円余増加し、46億51百万円余となりました。純資産増加の主な要因は、利益剰余金、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月14日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,304,219	1,098,501
受取手形、売掛金及び契約資産	1,572,139	1,808,672
立替金	974,213	1,023,547
その他	149,018	119,189
貸倒引当金	△2,610	△2,024
流動資産合計	3,996,981	4,047,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,021,937	1,255,020
機械装置及び運搬具（純額）	20,096	51,341
工具、器具及び備品（純額）	4,196	5,819
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	53,327	149,076
有形固定資産合計	2,881,214	3,242,914
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	54,938	44,693
無形固定資産合計	89,498	79,253
投資その他の資産		
投資有価証券	2,004,288	2,111,549
差入保証金	774,231	774,592
退職給付に係る資産	72,037	103,633
その他	598,847	609,812
貸倒引当金	△4,265	△4,265
投資その他の資産合計	3,445,138	3,595,322
固定資産合計	6,415,851	6,917,489
資産合計	10,412,833	10,965,376

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,154,806	1,314,483
短期借入金	2,166,240	2,166,145
リース債務	38,855	53,122
未払法人税等	11,565	68,019
賞与引当金	231,322	119,646
その他	278,137	458,712
流動負債合計	3,880,927	4,180,128
固定負債		
長期借入金	1,661,970	1,537,361
リース債務	52,444	138,965
長期未払金	—	2,368
繰延税金負債	334,216	364,391
役員退職慰労引当金	70,480	77,688
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,131,761	2,133,425
負債合計	6,012,689	6,313,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	169,380	169,380
利益剰余金	2,706,532	2,885,711
自己株式	△6,926	△6,970
株主資本合計	3,603,986	3,783,120
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	802,308	869,374
為替換算調整勘定	26,747	30,853
退職給付に係る調整累計額	△32,898	△31,527
その他の包括利益累計額合計	796,157	868,701
純資産合計	4,400,143	4,651,822
負債純資産合計	10,412,833	10,965,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
営業収入	11,432,882	12,641,398
営業費用	10,695,933	11,820,267
営業総利益	736,948	821,131
一般管理費	570,992	586,032
営業利益	165,956	235,098
営業外収益		
受取利息及び配当金	140,762	105,388
持分法による投資利益	3,882	3,146
その他	61,488	63,920
営業外収益合計	206,133	172,454
営業外費用		
支払利息	41,510	45,858
その他	8,072	1,788
営業外費用合計	49,582	47,647
経常利益	322,507	359,905
特別利益		
固定資産売却益	219	3,699
投資有価証券売却益	109,515	—
特別利益合計	109,735	3,699
特別損失		
固定資産除売却損	0	988
リース解約損	—	3,552
特別損失合計	0	4,540
税金等調整前四半期純利益	432,243	359,064
法人税等	130,702	106,575
四半期純利益	301,540	252,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,540	252,489

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	301,540	252,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	177,587	67,066
退職給付に係る調整額	1,685	1,371
持分法適用会社に対する持分相当額	10,490	4,105
その他の包括利益合計	189,763	72,543
四半期包括利益	491,303	325,033
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	491,303	325,033
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,894,179	3,781,875	5,616,975	40,500	99,352	11,432,882	—	11,432,882
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,980	1,980	△1,980	—
計	1,894,179	3,781,875	5,616,975	40,500	101,332	11,434,862	△1,980	11,432,882
セグメント利益又は損失(△)	△42,644	△30,120	191,115	37,500	10,105	165,956	—	165,956

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,980千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	2,106,593	3,926,269	6,484,277	40,500	83,757	12,641,398	—	12,641,398
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	6,540	6,540	△6,540	—
計	2,106,593	3,926,269	6,484,277	40,500	90,297	12,647,938	△6,540	12,641,398
セグメント利益	15,099	872	170,556	38,904	9,664	235,098	—	235,098

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△6,540千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	111,467千円	115,510千円